

英語科 評価・評定

目標

英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成し、聞く・話す・読む・書くことのバランスのとれたコミュニケーション能力を養う。

1. 英語科観点別評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	思考力・判断力・表現力
授業に対し、またAETとの授業中のコミュニケーション活動に対し意欲的に取り組んでいるか。	自分のこと、気持ち、伝えたいことを英語で表現しようと努力し、その力を身に付けることができたか。また、英語を聞く、読む活動において具体的な内容を把握、理解する力を身に付けることができたか。
<input type="checkbox"/> 授業観察 <input type="checkbox"/> コミュニケーション活動への取り組み <input type="checkbox"/> 課題への取り組み <input type="checkbox"/> 提出物への取り組み など	<input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> パフォーマンステスト <input type="checkbox"/> 英作文点検 など
知識・技能	
言語としての英語やその運用についての知識を定着させることができたか、そしてその背景にある文化を理解することができたか。	
<input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> 小テスト <input type="checkbox"/> 単語テスト など	

2. 英語科評価評定基準

①観点別学習状況の評価・・・観点の欄にA・B・Cの評価が記入されます。

観点ごとの目標への到達度が、定期テストや課題提出、小テストや実技テスト、授業への取り組み方などをもとにして、次のように評価します。

- A———— 十分に満足できると判断される。(達成度85%以上)
- B———— おおむね満足できると判断される。(達成度50%以上 85%未満)
- C———— 努力を要すると判断される。(達成度50%未満)

②教科の評定・・・上記の観点別学習状況の評定を踏まえ、次のような方法で1・2・3・4・5の評定が記入されます。(*目安であり、必ずしもこれにあてはまらない場合もある)

- 5———— AAA (十分に満足でき、特にその程度が高い)
- 4———— AAB (十分に満足できる)
- 3———— ABB、BBB、ABC、BBC (おおむね満足できる)
- 2———— ACC、BCC (もう少し努力をしてほしい)
- 1———— CCC (多いに努力をしてほしい)